



国際医療福祉大学大学院 医療経営戦略コース (h-MBA)

国際医療福祉大学大学院教授
医療経営管理分野責任者
武藤正樹



国際医療福祉大学・高邦会グループの概要

平成7年栃木県大田原市に、日本初の保健・医療・福祉分野の総合大学として設立。看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、社会福祉士、介護福祉士、薬剤師等のメディカル・スタッフを育成している。

国際医療福祉大学 大学院(東京青山 キャンパス)



大学院 医療福祉学研究科

大学院 医療福祉学研究科
 修士課程: 保健医療学専攻、医療福祉経営専攻
 臨床心理学専攻
 博士課程: 保健医療学専攻

- 栃木本校のほかサテライトキャンパスも設置(東京・小田原・熱海・福岡・大川)
- 同時双方向遠隔授業
- 医療職のための本格的な生涯学習コース、「乃木坂スクール」開講

保健医療学部

看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科

医療福祉学部

医療経営管理学科、医療福祉学科

薬学部

薬学科

福岡リハビリテーション学部

(福岡県 大川キャンパス)

理学療法学科、作業療法学科、
言語聴覚学科(平成19年4月開設)

小田原保健医療学部

(神奈川県 小田原キャンパス)

看護学科、理学療法学科、作業療法学科

大学附属施設

(269床)



熱海病院

(291床)



三田病院

(206床)



国際医療福祉
大学病院

(300床)



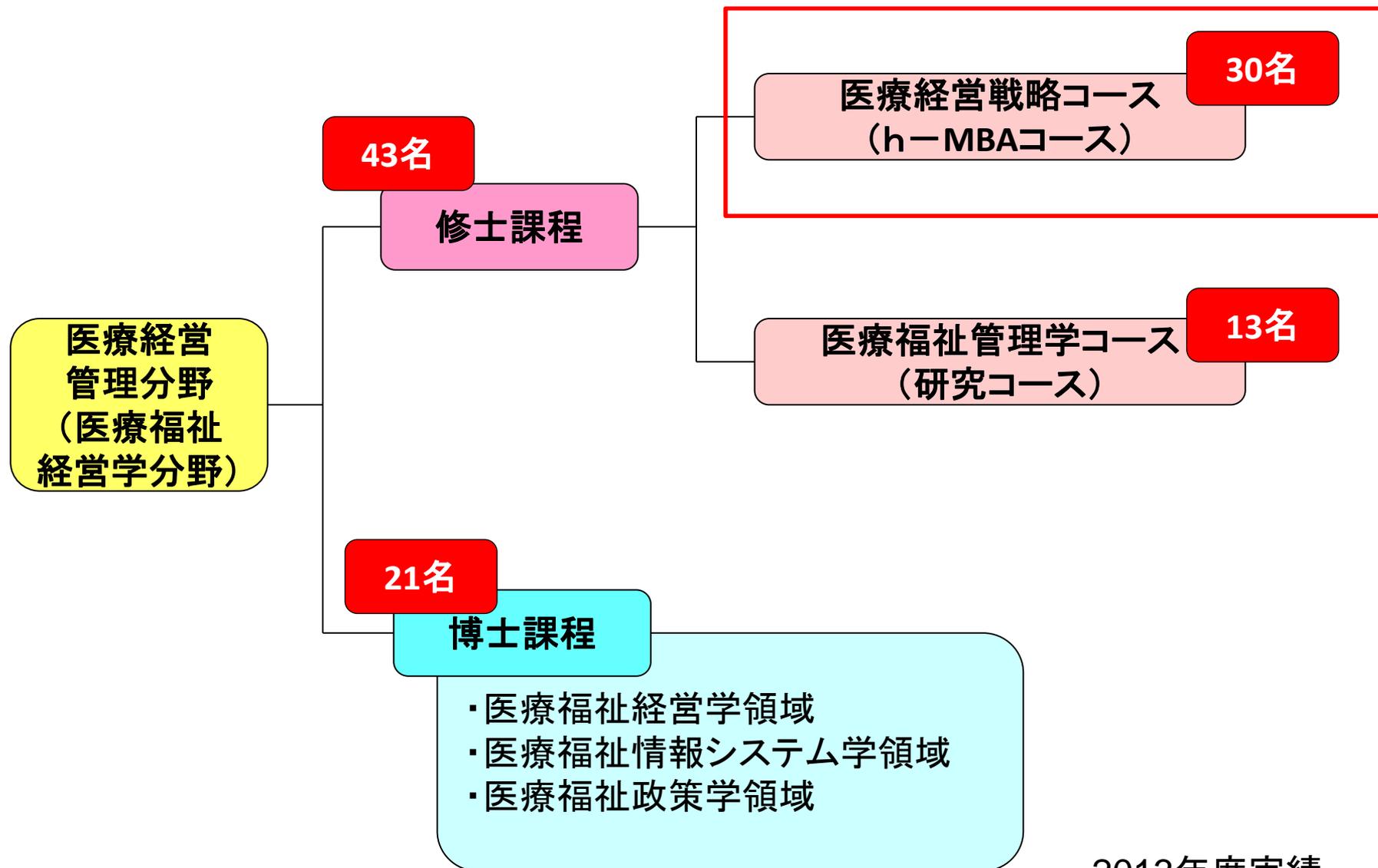
塩谷病院

東京本部 (乃木坂)

総務部
人事部
企画部
医療管理部



1. 医療経営管理分野の概要



2013年度実績

2. h-MBA(医療経営戦略コース)の概要

(1) 目的

「ヘルスケア分野における高い経営戦略立案能力を有した人物の養成」

(2) 学生(2013年度:1年生19名、2年生11名)

職種	人数
看護師	13名
医事職員(役員)	7名
医療経営コンサル	2名
理学療法士	2名
行政書士、建築設計士、栄養士、放射線技師、介護福祉士、製薬企業職員	各1名

年齢	人数
25～29歳	2名
30～34歳	5名
35～39歳	10名
40～44歳	5名
45～49歳	3名
50～54歳	3名
55～59歳	1名
60歳以上	1名

(3) h-MBAの授業の構成

講義

- ・マネジメントに必要な基本知識を身に付ける。(最低9科目/18単位)
「医療経営学」、「財務会計論」、「ビジネス統計学」、「医療人事管理」、「管理会計学」、
「医療における法と倫理」、「ビジネス定量分析」、「医薬マネジメント論」等

+

演習

- ・4つのプログラムの中から1つ選び、そのプログラムの手法に基づいてマネジメントに必要な基礎知識や技術、判断能力等を養成する。
(「財務プログラム」「データ解析プログラム」、「医療マネジメントプログラム」「経営管理プログラム」)(半期1単位×4、合計4単位)

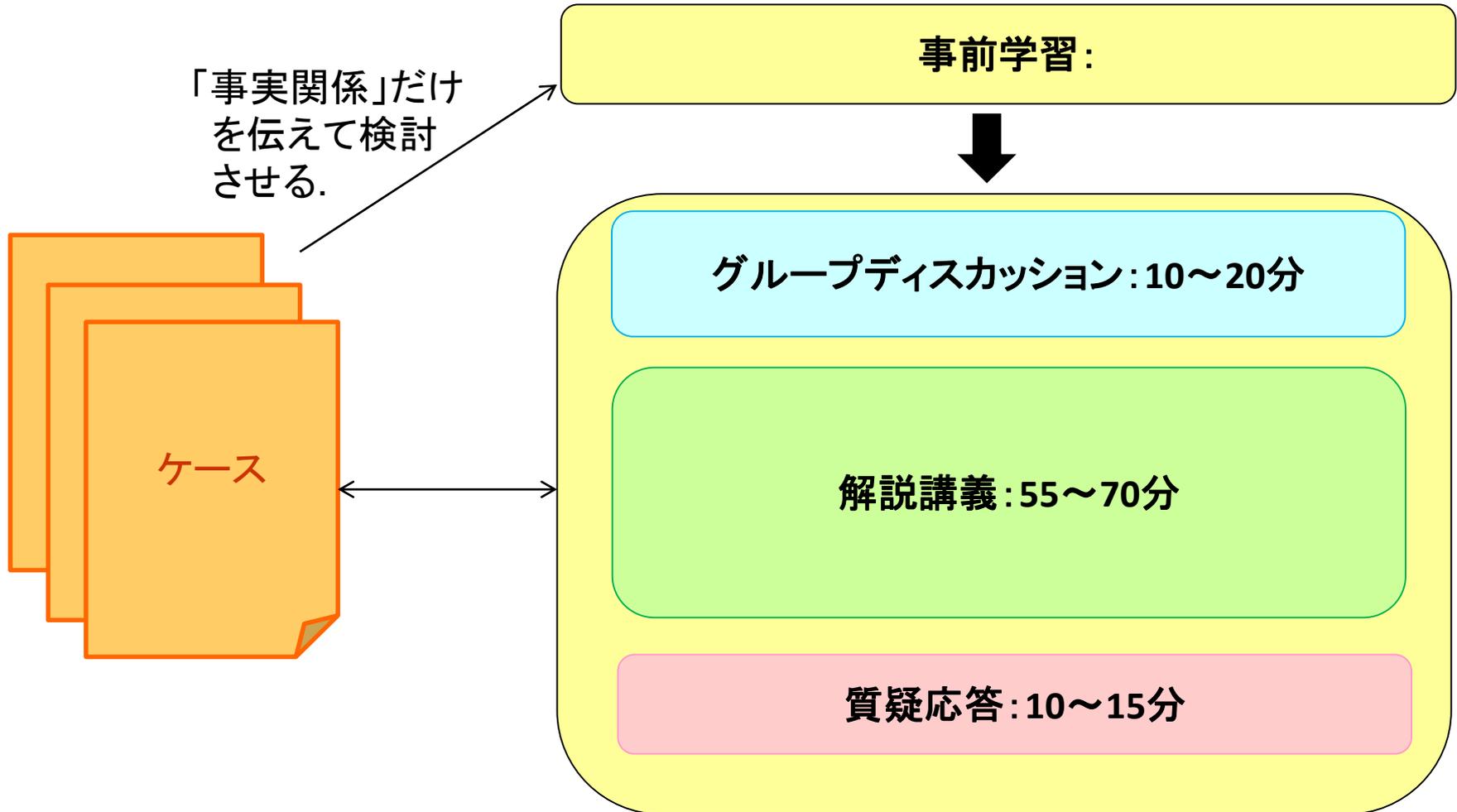
+

ケースメソッド

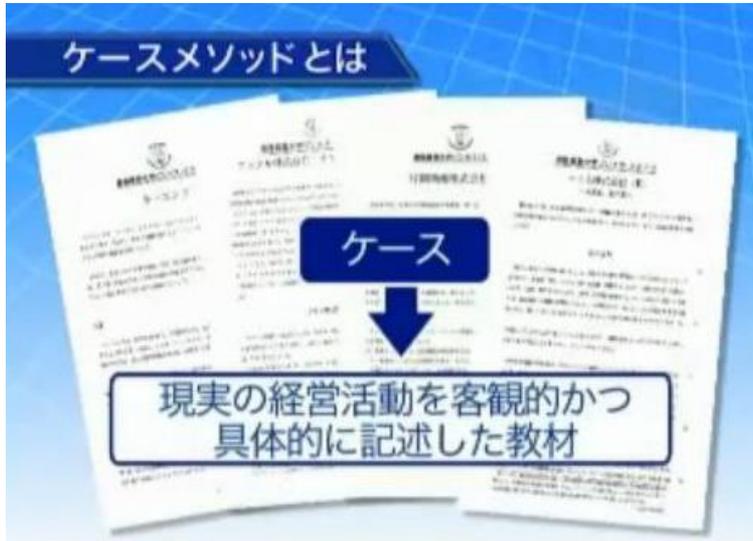
- ・学生の実践的な意思決定能力を訓練するために、先駆的な病院の事例を教材として、講義方式ではなく、受講者相互の討議を通して授業を行う。(半期2単位×4、合計8単位)

(4) 教育上の工夫 「ケースメソッド」 徹底的な「現場の生きた教材」を使った授業

<例:あるA病院の経営改善事例>



ケーススタディとは



ケースに内在する問題を発見・分析
解決案を導き出す



1. 学生同士で意見を交換
2. 相互に批判する
3. 自身の考えを修正



1. 自身の意思決定を表明
2. 視点を変えた分析
3. 自身の意見を再検討

ケースメソッド





h-MBAは実務に直結した、
医療・福祉に特化した経営大学院です。



国際医療福祉大学大学院 医療経営戦略コース h-MBA 医療マネジメントプログラム

プログラム責任者
国際医療福祉大学大学院教授
武藤正樹



医療マネジメントプログラムの 問題意識

- 2025年、団塊の世代高齢化へむけて、国はおおきく医療・介護の提供体制を変えようとしている。
- 病床の機能分化と連携に現場はどのように対応すべきか？
- DPC時代、病院における現場のマネジメントをどのように行えばよいのか？
- 医薬品・医療材料のマネジメントはどうすればよいのか？
- 病院や地域における看護マネジメントの在り方は？
- 制度環境が大きく変わるなか製薬・医療材料企業、卸のあり方は？
- 医療機関としての保険薬局の新たな役割は？

国際医療福祉大学大学院 医療マネジメントプログラム

- 製薬・医材メーカーのMR、卸MS、病院薬剤師、看護師、チェーンドラッグストア経営幹部等が参加
- 財務、経営戦略、マーケティング、情報処理など病院経営・企業経営全体を見渡す視点を獲得
- 医薬・医材分野に特化したケースメソッドと演習を行った
- 看護マネジメントについても演習を行った
- 他のh-MBAコースの院生とともに学び、病院現場の看護師、薬剤師等とも異業種交流ができた

h-MBA医療マネジメントコース (武藤ゼミ)

1年生(13名)

浅木貴子、石本裕一、磯野祐子、岩間賢太郎、
有働由喜子、清川真也、幸崎若菜、
佐藤祐也、砂田悟、高橋泉子、立川美香、津曲俊宏、
山下まゆみ

2年生(10名)

沼倉知世、多部田亜岐、伊藤暖子、小林智明、
篠崎優子、赤尾美和子、菊池美和子、近藤由里加、
後藤浩志、御子柴梓

前期ゼミ日程(土曜日 4限、5限)

①4月12日

オリエンテーション

2025年へのロードマップ①

②4月26日

2025年へのロードマップ②

2年生課題研究

③5月24日

2025年へのロードマップ③

2年生課題研究

④6月7日

6月13日(金)～14日(土)

日本医療マネジメント学会

(岡山県岡山市)

⑤6月21日

2025年へのロードマップ④

1年生、2年生の課題研究

⑥7月5日

2025年へのロードマップ⑤

1年生、2年生の課題研究

⑦7月19日

2025年へのロードマップ⑥

1年生、2年生の課題研究

⑧7月26日(特別講演)

夏休み補講とゼミ旅行

8月2日、8月9日

2025年へのロードマップ

～医療計画と医療連携最前線～

- 武藤正樹著
- 医学通信社
- A5判 220頁、2600円
- 地域包括ケア、医療計画、診療報酬改定と連携、2025年へ向けての医療・介護トピックスetc
- **2013年4月発刊**



これは
良く分
かる

日野原先生にもお読みいただいています。

課題研究が重要！

問題意識に根ざした課題研究、

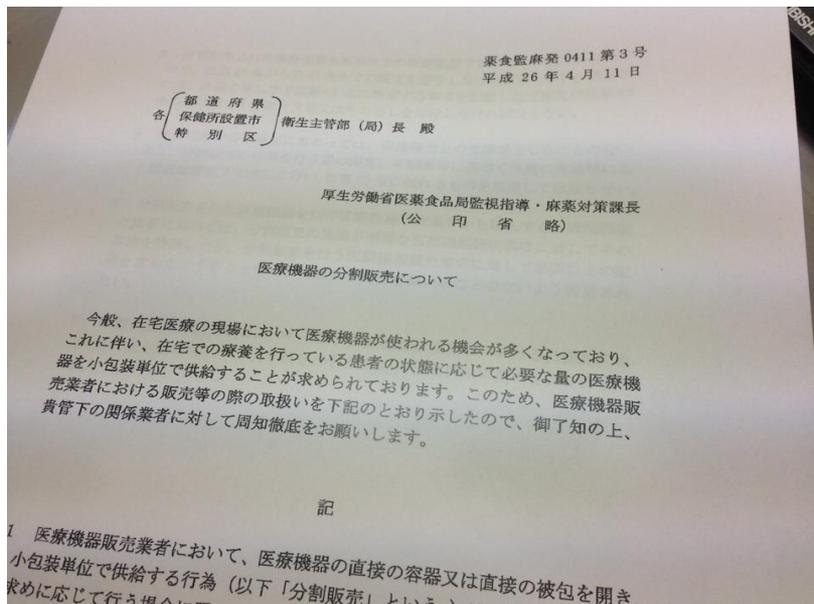
目指すはイノベーション
新たな社会価値の創造！

2年生の課題研究例

- 経腔分娩費用の検討～A病院の患者サービス向上に向けた分娩費用の検討～
- 経口補水療法に対する医師の意識調査
- 精神疾患（認知症）にかかる高齢者の服薬状況に関する一考察
- 病棟におけるSPDシステム使用の現状と課題
- 薬剤師による吸入器の評価および指導方法に関する研究

h-MBA課題研究で社長賞！

- 東邦薬品の伊藤大史「医療材料の分割販売」
- 分割販売が厚労省の通知で認められる
- 社長賞受賞





第16回日本医療マネジメント学会学術総会



「楽しく働くために～医療の進むべき姿を求めて～」

2014年6月13日(金)～14日(土)

岡山県岡山市

4000人の医師、看護師、薬剤師等が
集まります！

発表演題数1000以上
この学会で、h-MBAの課題研究の
発表を行った！

お勧め乃木坂スクール (大学院公開講座)

#06 医工薬連携講座2014

北島 政樹(国際医療福祉大学学長 日本医工ものづくりコモンズ代表)、武藤 正樹 教授(医療経営管理分野)

#12 戦略的医療経営講座

【水曜 / 13回】WEB 武藤 正樹 教授・羽田 明浩 准教授(医療経営管理分野)

お勧め乃木坂スクール (大学院公開講座)

- #13 医薬品マネジメント講座2014 (単位科目)
【木曜 / 15回】遠隔WEB 和田 勝 教授・武藤
正樹 教授 (医療経営管理分野)
- #18 地域連携と専門職 ～地域連携コーディネ
ーター養成コース2014 (医療福祉連携論Ⅱ) (単
位科目)【土曜 / 15回】遠隔WEB 高橋 紘士
教授 (医療福祉学分野)、武藤 正樹 教授 (医
療経営管理分野)
- 詳細は以下のホームページをごらんください。

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>

乃木坂スクールの多彩なゲスト



青山キャンパスライフ







4

ゼミ旅行

彦岐医療福祉施設見学



ゼミ旅行、ベトナム病院見学



ベトナムで、カエルを食べた
仲間も無事卒業！



h-MBAで学ぶ3つのこと マーケティング、ファイナンス そしてコミュニケーション



データに基づく
戦略的意思決定
を！

ご清聴ありがとうございました



フェイスブックで「お友達募集」をしています

国際医療福祉大学クリニック <http://www.iuhw.ac.jp/clinic/>
で月・木外来をしております。患者さんをご紹介ください

本日の講演資料は武藤正樹のウェブサイト
に公開しております。ご覧ください。

武藤正樹

検索



クリック

ご質問お問い合わせは以下のメールアドレスで

gt2m-mtu@asahi-net.or.jp